

保険者国保事業紹介



福知山市



■国保料収納率向上に向けた取り組み ～支払い方法を多様化■

高齢化に伴う医療給付費の増加が進む中、国保財政の健全な運営と被保険者間の公平性の確保の観点から、保険料の収納率向上は極めて重要となっています。

本市では、被保険者の保険料の納付機会の確保のため、口座振替納付の勧奨、ペイジー口座振替サービスの導入、コンビニ収納の導入などの支払い方法の多様化をすすめています。

また、徴収業務を京都地方税機構に移管し、適正賦課、収納・滞納者対策を強化しながら「払いたくても払えない人」と「払える能力があるのに払わない人」を見極め、納期内納付の徹底を図るなど保険料収納率の向上に向け取り組んでいます。



■健診受診率向上に向けた取り組み ～3市共通のチラシを作成■



本市では、特定健康診査開始時から受診率が低いことが課題でした。イベント等では健（検）診啓発を以前から行っておりましたが、他市町村の人が来場されているとチラシを受け取ってもらえないということがありました。

そこで、平成 28 年度から中丹地域の綾部市・舞鶴市と相談し、3市の健（検）診の情報が分かる共通チラシ（図参照）を作成し、配布を行っています。その結果、中丹地域からのイベント来場者にもチ

ラシを受け取ってもらえ、受診への動機付けになったのではないかと考えています。今後も他市との連携を行いながら、中丹地区全体の受診率向上に向けての取り組みを行っていきたいと思います。

■～「こんにちは 40 歳事業」の効果に期待■

特定健診の受診率を年齢別に分析すると、本市も全国と同様に、若年者の受診率が低い傾向にあります。国保加入時の健診の案内や、加入後の特定健診受診券の送付など行っていますが、平成 28 年度からは、特定健康診査の対象となる 40 歳になる被保険者に対し、特定健診の自己負担金を無料にする「こんにちは 40 歳事業」を開始しました。平成 28 年度は通知の郵便はがきでの案内のみで、受診率の大きな変化が見られなかったため、平成 29 年度は医療機関受診用の無料問診票と特定健診受診券の送付時に、「受けやすい」「分かりやすい」を心がけた案内文を同封し、効果に期待しています。

